

## 【別添 1】

### 令和 6 年度沖縄県主任介護支援専門員研修 事例の作成・提出について

#### 1. 提出方法・提出期日

受講決定通知の際の「提出書類等について」を確認し、令和 6 年 10 月 23 日(水)09:00 までにメールで提出をお願いいたします。 ➡

**受講決定後の提出になります。**

#### 2. 提出する事例について

##### (1) 事例の選定

1	<p>・研修における「演習」では、各自が実践した事例を持ち寄り、研修を行います。</p> <p>・<b>提出された事例は、共通事例として使用(受講者全員へ配布)する場合がございます。取扱いについて十分に理解したうえで、ご提出ください。</b></p>																
2	<p>・以下A~Hの8つのテーマの視点での実践事例を【1つ】提出してください。</p> <p>・介護予防事例、施設事例もしくは終了事例でも構いません。</p> <p>・申込の際に申請した事例のテーマでご提出をお願いします。</p> <p>・1つの事例に、テーマが複合的に含まれていても結構です。その場合、最も取り扱いたいテーマを選択してください。</p> <p><b>*提出事例を選ぶ考え方として①支援方法に迷った(迷っている)②支援が難しかった(難しい)③支援に困った(困っている)など自己の過去の支援を振り返りたい、現在の支援を見直したいと感じた事例を選定してください。</b></p> <p><b>*事例提出にあたり、本人や家族、事業所の承諾を得る必要性がありますので、承諾が得られる範囲で結構です。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>脳血管疾患のある方のケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>認知症のある方及び家族等を支える基本的なケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>大腿部頸部骨折のある方のケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td>心疾患のある方のケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">E</td> <td>誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">F</td> <td>看取り等における看護サービスの活用に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">G</td> <td>家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H</td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>※テーマの選択については、「4. 参考」をご確認ください。</p>	A	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	B	認知症のある方及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	C	大腿部頸部骨折のある方のケアマネジメント	D	心疾患のある方のケアマネジメント	E	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	F	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	G	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	H	その他
A	脳血管疾患のある方のケアマネジメント																
B	認知症のある方及び家族等を支える基本的なケアマネジメント																
C	大腿部頸部骨折のある方のケアマネジメント																
D	心疾患のある方のケアマネジメント																
E	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント																
F	看取り等における看護サービスの活用に関する事例																
G	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント																
H	その他																
3	<p><b>【注意事項】</b></p> <p>・当該利用者及び家族・事業所(施設)の許可を得て提出してください。</p> <p>・提出事例の作成にあたっては、対象とした要介護者等のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報にあたる部分(氏名・住所・電話番号・生年月日・サービス事業所名等)は必ず消すようにしてください。</p> <p>・提出いただいた事例を確認し、「事例の選定」の条件に満たないと思われるものについては、沖縄県に相談のうえ、再提出または受講取消となる場合があります。</p> <p>・<b>事例の提出がない場合は、研修の受講はできません。</b></p>																

## (2) 提出する事例の様式・作成方法

次の順番「0～4」の様式を作成してください。

順番	様式名	書き方・注意事項等
0	提出事例について	●「0～3」は、指定様式「(別添2)事例演習シート(エクセルデータ)」となります。
1	基本情報シート	●「0」は、研修用に追加したシートです。
2	アセスメントシート	●「1～3」は、「沖縄県版共通アセスメント様式 Ver.2.3」と同じシートです。
3	課題整理総括表	●当協会ホームページ (URL: <a href="https://www.okicare.jp/docs/329">https://www.okicare.jp/docs/329</a> )に掲載されている「活用マニュアル」をご参照ください。 <b>注意・マスキングに注意してください。</b> <b>・個人名・事業所名・住所・電話番号等は必ず消してください。</b>

## (3) 事例の提出方法

前項(2)様式「0～3:(別添2)事例演習シート(エクセルデータ)」

**令和6年10月23日(水)9:00までにメールにて提出する。**

提出先メールアドレス ⇒ [4shunin@okicare.jp](mailto:4shunin@okicare.jp)

## 3. マスキングについて

### マスキングの基本

#### ① 利用者個人が特定されないこと

個人情報とは

- ・利用者・家族  
氏名、住所、電話番号、生年月日 など
- ・主治医、サービス事業者  
名称、氏名、所在地、電話番号 など

#### ② 検討資料になること

消しただけ、または消してしまうと事例の理解が進まなくなるものに留意

- ・性別、年齢、続柄、認定区分
- ・関係機関、関係者、出身地については、アルファベットで表す。  
※ イニシャルではなく、A(本人)から順次付ける  
※ 受講者(提出者)の氏名は、マスキング対象外です。

## マスキング(個人情報消し込み)のルール

(1) 個人情報に関する部分は修正液(修正テープ)で消した上でコピーをしてください。

※マジックや個人情報を消すためのスタンプでは、コピーをしたときに文字が浮き上がることがあります。出来るだけ修正液(修正テープ)を使用してください。

(2) マスキング後の表記方法

- ・利用者氏名 ⇒ **利用者本人の氏名は「Aさん」に統一してください。**
- ・生年月日、住所、連絡先 ⇒ **全て消してください。(年齢は記載する。)**
- ・利用者家族、親族、サービス提供者等の氏名や連絡先
- ・主任介護支援専門員「更新」研修の場合は、指導・支援事例となりますので、事例提供者(担当介護支援専門員)の勤務先名、所属する他の職員の名前も消してください。  
⇒ **利用者以外の名前は「妻」「兄」などの続柄で表してください。**
- ・受講者(提出者)の氏名は、マスキング対象外です。

《消し忘れの多い項目》

- ・基本情報 ⇒ 利用者の出身地や地名、利用者家族の氏名・電話番号等(続柄は記載)
  - ・課題分析(アセスメント) ⇒ サービス提供者等の氏名・電話番号
- ※1枚目は全て消していても、2枚目以降を消し忘れているということが多く見受けられます。

## 4. 参考

・提出する事例のテーマの選択について、下記の表のキーワード例を参考にしてください。

《参考選択表》

項目	テーマ	キーワード例
A	脳血管疾患のある方の ケアマネジメント	再発予防、疾病や血圧の管理、生活習慣の改善、内服管理の支援、脱水予防、心理的回復の支援、リハビリテーション、コミュニケーション能力の改善、社会参加の機会の確保、食事と栄養の確保、転倒予防 等
B	認知症のある方の ケアマネジメント	認知症に診断されるに至った経緯、認知機能障害、行動・心理症状(BPSD)の理解、意思決定支援の必要性、一週間の生活リズム、体調管理や服薬管理、権利擁護、本人に不安やストレスの把握、家族支援 等
C	大腿部頸部骨折のある方の ケアマネジメント	再骨折の予防、骨粗しょう症の予防、歩行機能訓練、ADL・IADL の回復、心理的不安の排除、生活不活発リスクの把握、環境整備、リハビリテーション、社会参加の機会の維持・拡大 食事と栄養の確保 等
D	心疾患のある方の ケアマネジメント	疾病の理解と確実な服薬、併存疾患の把握と療養、体重管理、塩分・水分量のコントロール、血圧管理、負荷のかかる環境の改善、急性増悪の予防、本人・家族等への生活習慣を変えることの支援、不安の軽減、エンドオブライフに向けた準備 等
E	誤嚥性肺炎の予防の ケアマネジメント	誤嚥性肺炎の予防の必要性の理解、誤嚥リスクの評価、摂食訓練の評価、食事内容・食事のとり方の見直し支援、フレイル予防のための必要な栄養、口腔ケアの実施 等
F	看取り等における看護サービスの 活用に関する事例	看取りにおける社会資源、訪問看護師との連携・協働、多職種との連携、疼痛緩和ケア、意思決定支援、家族・遺族ケア、トータルペインの理解、グリーフケア、デスカンファレンス 等
G	家族への支援の視点や 社会資源の活用に向けた 関係機関との連携が 必要な事例のケアマネジメント	家族介護者への支援、難病、高齢者虐待防止、経済的に困窮状態にある高齢者支援、障害者総合支援法、精神保健福祉法、ヤングケアラー、仕事介護の両立支援、重層的支援体制整備事業
H	その他	上記(A~G)以外